第5分科会石川支部 ワークシート(セッション2)

学校のスタッフとして生き生きと働く！ ～自由な発想で学校事務をデザインする～

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。

なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

【タイトル】 学校のかゆいところに手が届く事務室を目指して

【背景と目標】 私が勤務する地域は集中配置型の事務室であり、拠点校1校と構成校6校で構成されている。
構成校には事務職員が未配置であり、毎週1回定期訪問を行っているが、管理職等の事務負担感が大きいと、学校が抱える負担を少しでも軽減したい。

【協働・取組】 地域内での事務平準化を推進したり、構成校への学校行事等に参加し、訪問の機会を増やすなどして構成校と積極的に関わっている。

【成果と課題】 拠点校だけでなく構成校の一員として関わることで、校務運営参画に事務職員としての視点から意見することができたり、構成校からの信頼を得ることができた。しかし、事務負担の軽減についてはまだまだ達成できていないため、少しでも負担感が軽減されるように努めたい。

【教訓】 学校行事や校務運営参画に参加することで、管理職や他の教員との良い人間関係を築くことができ、事務処理をスムーズに行うことができた。

- (参考例)
- ① GIGAスクール、ICT機器を使った実践
 - ② コミュニティ・スクール、地域連携の実践
 - ③ 環境整備の実践
 - ④ 業務改善（教職員の負担軽減）の実践
 - ⑤ 財務（予算要求、保護者負担軽減）に関する実践

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

① 実践の自分の満足度	1	2	3	4	5
② 実践への周りの反応	1	2	3	4	5